



1/17(土)18(日)第3回はつらつ体験塾通信チャレンジキャンプ号

令和7年度最後のはつらつ体験塾は小・中学生19名、保護者1名、学生ボランティア3名、看護師1名の総勢24名がキャンプに参加し、保護者プログラム参加の15名を合わせて39名での開催となりました。

★1日目 1月17日(土)

「出会いのレクリエーション」では風船を使って班ごとに活動しました。久しぶりに会う友達と打ち解けて笑顔で楽しく活動できました。「薪づくり体験にチャレンジ」では、自然の家の野外炊きで多くの人が利用する薪を800本作ることを目標に取り組みました。寒い中でしたが、みんなで果敢にチャレンジする姿が見られ、見事にやりきりました。一生懸命チャレンジした後の夕食は格別です。普段は少食な参加者もぺろりと平らげ、おかわりもたくさんしていました。



子どもたちが薪をつくっている頃、希望する保護者は「ワークショップ」に参加しました。はつらつ体験塾卒業生の保護者から、当時感じていたことや今になって思うことについて話を伺いました。その後は、お茶とお菓子を用意して食べながら飲みながら共感したことや学んだことを付箋に書いて、みんなでシェアしました。和やかな雰囲気の中でみんな笑顔で集合写真の撮影。子どもたちだけでなく保護者の皆さんにも元気になってもらえて嬉しく思います。



夕食の後は2日目の「お楽しみ昼食会の話し合いにチャレンジ」です。中学生がリーダーとなって、メニューや予算に応じた買い物、買い物の分担、調理の分担を決めました。話し合いが少し苦手な子どもたちもチラシを見ながら「〇〇食べたーい」「〇〇もいいね」とみんなで楽しみながら取り組むことができました。



★2日目 1月18日(日)

2日目は、原信に出かけて「予算内での買い物にチャレンジ」です。どの班も予算内で買い物ができる素晴らしかったです。買い物のマナーもばっちり！セルフレジもお手の物でした。



みんなで「ランチづくりにチャレンジ」です。包丁や火の扱いに気を付けて安全に取り組むことができました。できあがったランチはもちろん絶品！みんながお腹いっぱい食べました。



今回のキャンプを最後に「3人の中学生がはつらつ体験塾を卒業」しました。インタビューでは思い出やこれから頑張りたいこと、後輩にメッセージを残してくれました。4月からもはつらつと頑張ってもらいたいと思います。



自然の家 HP
ご覧ください

学校に行きたくない、行きづらいと感じている小学生、中学生の皆さん、自然の家に集まる新しい友達や大学生とわくわくドキドキしながら生きる力と新たな学びの場に行こうとする気持ちを高めてみませんか？来年度は5月からスタートします。お待ちしております。
新潟県少年自然の家はつらつ体験塾担当:保坂・須田